

教科名 科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
工業	4	1年 システム工学科	必修	工業技術基礎	実教出版
工業技術基礎					

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術の基礎基本の習得</li> <li>安全作業の心得</li> </ul>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や図面から作業工程を読み取り、課題に応用することができる。</li> <li>制作方法の経験を今後の活動に活かすことができる。</li> <li>正確に、迅速に、美しく加工するために、工具や機械に関する正しい知識と技能を習得している。</li> </ul>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画・工程の変更があった場合、対処方法を検討し、改善する気持ちを持つこと。</li> <li>常に最善の方法を考えながら、慎重に作業を進める姿勢を崩さず、創意工夫ができること。</li> </ul>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>よりよい作品に仕上げようというこだわりを持ち、正確に制作しようとする姿勢がある。</li> <li>安全作業に対する認識が高く、慎重な取り組みができる。</li> </ul>
評価の方法	<p>「知識・技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価A、十分に理解できると判断できるもの(80%以上)評価B、おおむね満足できると判断できるもの(50~79%)評価C、努力を要すると判断できるもの(50%未満)</li> </ul>
	<p>「思考・判断・表現」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価A、十分に理解できると判断できるもの(80%以上)評価B、おおむね満足できると判断できるもの(50~79%)評価C、努力を要すると判断できるもの(50%未満)</li> </ul>
	<p>「主体的に学習に取り組む態度」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価A、十分に理解できると判断できるもの(80%以上)評価B、おおむね満足できると判断できるもの(50~79%)評価C、努力を要すると判断できるもの(50%未満)</li> </ul>

学期	学習計画および内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①手仕上げ:ヤスリの種類・使い方を習得する。ボール盤を使用し、穴あけの基本を習得する。</li> <li>②旋盤:ノギス、旋盤の概要、安全作業について理解する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ガス溶接:ガス溶接の概要を理解する。溶接に適した標準炎の作り方を理解する。</li> <li>④電気実習:電気の基礎知識を基に、様々な回路を作ること理解する。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①手仕上げ:タップとダイスによるネジ立ての基本を習得する。基本的な加工を入れた課題を制作し、手仕上げの基礎を理解する。</li> <li>②旋盤:使用バイトと材料の固定、端面切削と外丸削りの基礎を習得する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ガス溶接:下向きでのビートの引き方を習得する。ガス切断について理解し、方法を習得する。</li> <li>④電気実習:テスタやオシロスコープの操作方法を理解する。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アーク溶接:被覆アーク溶接の概要を理解し、下向きビートの引き方を習得する。</li> </ul>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種機械の操作方法</li> <li>作業服、安全靴、帽子着用の徹底</li> <li>学習時期は班によって異なる。</li> </ul>
---------------------------	--